

## 第 1 回道路等包括管理事業意見交換会の開催結果

**■ 開催結果**

- 1 日 時 令和元年度 10 月 11 日（金）
- 2 場 所 市役所北庁舎 3 階会議室
- 3 参加者 16 名

**■ 意見交換会での主な意見****【工区数と事業規模】**

- ・ 地域によって作業量が異なる。
- ・ 地域の特性を把握しているので、本社周辺の工区を担当するのが望ましい。
- ・ 工区数は 3 工区でも対応が可能と考える。
- ・ 工区数は 4 工区より多いほうが良い。
- ・ 4 工区それぞれの委託額が毎年 1 億円前後としても、会社の規模や職種によって採算性があるかは異なる。
- ・ 現在の事業に含まれる土木作業であれば、土木業者が入る必要がないのではないか。
- ・ 有事の際に 1 工区のほうが対応しやすいのではないか。また、専任技術者を置くのであれば、1 工区にしたほうが経費も下がるのではないか。
- ・ 4 工区にすると工区によって差が出るのではないか。

**【団体の企業構成と条件】**

- ・ 1 工区に造園業者を 2 社以上とする考えは良い。その場合、同じ工区内で共通の認識を持つことが難しいが、市内事業者同士であれば認識の統一が図りやすいのではないか。
- ・ 市内事業者の合計出資比率が 30%では少ないのではないか。
- ・ 市内事業者だけでは対応できない案件が発生する可能性がある。
- ・ 元請企業として造園業者を 2 社以上とすると、元請企業として必要な経費が重複するため、無駄が発生してしまうのではないか。
- ・ 地域ごとの樹木の分布状況によって必要な企業構成が変わる。
- ・ 道路改良工事は単価契約に含まれないのか。
- ・ 業務内容によって企業構成の比率は変わる。

### 【コールセンター業務の条件】

- ・窓口を1つにまとめるのが良いと思うが、災害時に対応しきれなくなる可能性があるため、各工区で別にするのが良い。
- ・コールセンターのみを別途発注するのが良い。
- ・窓口は1つに統一するのが良い。
- ・受け付けるオペレーターの教育が課題と考える。
- ・コールセンター業務の負担が大きいため、コールセンターを含む工区への応募はしないのではないかな。
- ・各工区が出資してコールセンターを運営する案が良いのではないかな。可能ならば市が運営するのが望ましい。
- ・24時間365日であれば専門のコールセンターに発注するのが良い。
- ・コールセンターを担う工区に応募がなかったらどうするのかな。
- ・コールセンターの周知は難しい。市役所にばかり苦情要望の連絡が入るのであればコールセンターの意味がないのではないかな。
- ・技術力維持の面から、市が関与する必要があるのではないかな。

### 【市内事業者が参画するにあたっての疑問・課題】

- ・現在の包括管理事業の作業内容がわからないので、可能な限りの作業量、作業内容、工法などを開示してほしい。
- ・もともと劣化している道路と新しい道路では、管理のしやすさが異なる。
- ・道路以外の施設も含めるのかな。
- ・コールセンターで受けた苦情要望は、必ず即時対応しなければならないのかな。
- ・JVの構成企業としてではなく、下請けとして参加するほうが良いと考えている企業もある。
- ・市内事業者を下請けとして参加させることでの優位性を検討してほしい。
- ・選定の条件として、市内事業者の比率が高いほうを有利にしてほしい。